

2026 年 1 月 4 日		(朝 10:30-11:30)
聖 日 礼 拝		司会 城尾マコト
前 奏	全員黙祷 「新聖歌 23 番」	
招 詞	ヘブル 4 章 14～16 節(新 347 頁)	司会者
頌 栄	「新聖歌 60 番」	
主の祈り		全 員
使徒信条		全 員
交読文	新改訳 46 番 詩篇 148 篇 915 頁	司会者・全 員
聖 書	出エジプト 20 章 21 節(旧 103 頁)	司会者
讃美歌	♪新聖歌 421 ここに主は在して	
祈 祷	司会者による祈り	
	♪子供達の祝福の為の賛美 484 番	
聖餐式	♪新聖歌 52 備え給いし	
讃美歌	♪新聖歌 437 行きて告げよあまねく	
メッセージ	「神様の御座に大胆に近づく」	城尾淳一
讃美歌	♪新聖歌 446 あなたの罪 過ちは 証とお知らせの時間	
献 金	新聖歌 55 番	
頌 栄	新聖歌 63 番	
祝 祷		城尾マコト牧師
後 奏	全員黙祷 新聖歌 59 番	
<div>    </div> <div> Youtube Facebook HomePage </div>		

出エジプト記 20 章「神様の御座に大胆に近づく」

出エジプト記 20 章 21 節

イスラエルの民は、神様の圧倒的な臨在(雷・稲妻・ラッパの音・山の煙)に恐れをなしました。しかし、神様による訓練の賜物で、逃げ出さず踏みとどまることができました。モーセは「恐れてはいけません、神様はあなたたちが罪を犯さないように来られたのです」と励まし、神様のおられる濃い雲へと進んでいきました。民は恐怖の中にありながら、そこに踏みとどまり続けました。

「遠く離れて立った」の意味

18 節と 21 節に「遠く離れて立った」という表現が二回登場します。ヘブライ語では、18 節は「ヴァヤアムドゥ(一度の動作)」、21 節は「ヴァヤアモッド(立ち続けた)」と異なります。これは、最初のパニック的反応から、意志的な決断への変化、つまり民の霊的成長を示しています。21 節では、決意をもって持続的に踏みとどまり続けたのです。

仲介者モーセの役割

モーセは神様に近づき、民は遠く離れて立つ。この対比が、仲介者の必要性を際立たせています。もし仲介者がいなければ、民は神様に近づけず、神様の言葉も届かず、契約関係が成立しません。モーセは神様と民の「橋渡し」をする唯一の存在でした。聖書はこの場面を視覚的に描くことで、「仲介者がいなければ、神様と人とは繋がれない」という真理を教えています。

旧約から新約へ

ヘブル人への手紙は、イスラエルの民が体験した「恐ろしい神様の臨在」と、クリスチャンが近づく場所を対比します。私たちが近づいているのは、触れると死ぬシナイ山ではなく、霊的な生ける神様の都、シオンの山です。そこには恐ろしい稲妻や雷はなく、天上のエルサレム、喜びの集い、新しい契約の仲保者イエス様がおられます。

大胆に神様の御座に近づく

出エジプト記 20 章では、恐怖の中で踏みとどまることが信仰の第一歩でしたが、それだけでは不十分でした。新約時代、イエス様は人間と同じ苦しみと試練に会われ、完璧な聖なる供え物として私たちの罪を贖われました。イエス様のおかげで、私たちは「遠く離れて立つ」必要がなくなり、愛と信頼で神様に近づけるようになりました。イエス様は今も天で私たちのために執り成しの祈りを祈り、聖霊が私たちの心を満たしてくださっています。だから、神様を「恐れる」のではなく、神様を「畏れ」、そして大胆に感謝の祈りを捧げましょう。

城尾淳一